

「なにわ伝統野菜復活の歩み」

石橋明吉

【平成2年】

1) 5月、毛馬胡瓜の従来種の種子を和歌山の農家より譲り受ける。

【平成4年】

2) 12月、大手前の赤十字会館で開催された「好きやねんなにわ野菜」で講演者である土井政子さんから森下正博先生を紹介された。その際に毛馬胡瓜の種子を渡し栽培を依頼、純粋種子の栽培作業に参加。

【平成8年】

- 3) 都島区役所において毛馬胡瓜「ブソン君」スタンプを作成。同区役所及び小中学校で栽培の取り組みを始める。
- 4) 9月、我孫子の貸農園で知人が播く蕪の種が従来種であることを発見。その種を譲り受け森下先生に確認を依頼した。

【平成9年】

- 5) 1月、栽培の結果「従来種の切葉天王寺蕪」であることが確認された。
- 6) 12月、ABCテレビ「チャチャ」で従来の天王寺蕪の栽培風景などが放映された。野沢菜が天王寺蕪の種で栽培されていたことが判明した。

【平成10年】

- 7) 「天王寺蕪の会」猿田博氏、難波りんごさんの訪問を受ける。
以後、共同で復活活動を行なう。

【平成11年】

- 8) 9月、天王寺蕪の販売（少量）

【平成12年】

- 9) 5月、野沢菜の生産地、野沢温泉村と交流を始める。
- 10) 5月、和歌山県で南瓜と白瓜の種を入手。
- 11) 7月、南瓜の種が勝間南瓜の種、瓜の種が玉造黒門越瓜の種であることが中辻種和氏によって確認された。
- 12) 9月、大阪市立丸山小学校で天王寺蕪の栽培が総合学習に取り入れられることになった。
- 13) 12月、生根神社（西成区玉出）で従来の勝間南瓜を使った神事が行われた。

【平成13年】

- 14) 9月、大阪市立千本小学校で天王寺蕪の栽培が総合学習に取り入れられることになった。同小学校、内海和夫教諭が作詞・作曲した「なにわの伝統野菜の歌」の返礼があった。この歌は伝統野菜の行事の際に使用している。
- 15) 9月、なにわの伝統野菜のうち、毛馬胡瓜と天王寺蕪の漬物が農林水産省のEマーク商品に指定される。

【平成14年】

- 16) 大阪市農政局が伝統野菜の復活活動を開始する。

【平成15年】

17) いくつかの商店街および生涯学習のイベントで伝統野菜を使った漬物作りを始める。

【平成16年】

18) 小学校の道徳副読本に「なにわの伝統野菜」が取り入れられる。

19) 9月、私立よさみ幼稚園で園児に天王寺蕪の播き種の指導を行った。又、同園の園庭に栽培されることになった。

大阪市立依羅小学校にも同様に栽培されることになった。

【平成17年】

20) 6月、大阪市役所で「気軽にとおく・あすのおおさか」に出席。 関市長を中心に9名で話し合う。その席上で「なにわの伝統野菜の復活及び協力」を呼びかける。

21) 9月、阿倍野の安部晴明公一千年記念行事として除幕式に出席。その碑に揮毫させていただいた。

22) 10月、大阪市立千本小学校でなにわの伝統野菜（勝間南瓜）を使った調理実習が取り入れられ参加。

23) 11月、難波のO C A Tにて生涯学習の一環として天王寺蕪の浅漬の漬け方を講習する。また「ミドルエイジからのお食事」を楽しむ会に参加、天王寺蕪の浅漬を担当する。

【平成18年】

24) 1月、高津神社で難波葱を使った食研会が開催され、参加する。

25) 5月、大阪市立北恩加島小学校で勝間南瓜の講習をする。その後、畑に勝間南瓜の苗植えを指導する。

26) 6月、インテックス大阪で開かれた「なにわの野菜」の関係者として参加。

27) 6月、西成区の生涯学習にてなにわの伝統野菜を使った漬物作りの講習を始めた。

第1回目は泉州水茄子のぬか漬、第2回目は毛馬胡瓜、玉造黒門白瓜のぬか漬、第3回目は天王寺蕪の浅漬で行った。

28) 9月、大阪市立北恩加島小学校で収穫した勝間南瓜を使つての調理実習をされ参加する。

29) 福島区の大阪市立鷺州小学校が難波葱の栽培を始めてくれる。

30) 11月1・2日、長野県の野沢温泉村にて野沢菜誕生250周年記念法要に参加。「蕪四季会社」総会に出席。天王寺蕪の会の会員14名で「わてはてんのうじ、かぶらでっせ」を全員で歌う。アンコールあり。村役場に大阪府知事、大阪州市長、天王寺蕪の会会長のメッセージを渡してくる。健命寺、総会、村役場には天王寺蕪の生、漬物を持参する。

31) 12月、南港A T Cにて農業フェアが行われ参加。その会場で天王寺蕪、難波葱をアピールする。

32) 12月、大阪市立丸山小学校5年生と天王寺蕪を使った調理実習に参加。

【平成19年】

- 33) 1月、大阪市長千本小学校で天王寺蕪を使った講習で漬物作りの指導をする。また、種子取りのための植え替えの指導もする。数日後、生徒達から給食で食べた感想、御礼状が届く。
- 34) 2月3日、近畿農政局主催の「近畿食と農のふれあいフェスティバル」京都市勧業館に見に行く。
- 35) 2月15日、北恩加島小学校で「なにわの伝統野菜ファイナル」収穫祭に出席。後、給食及び収穫の野菜の調理実習したのを頂く。
- 36) 4月、依羅、みどり、鷺州、長池、大空小学校より勝間南瓜の栽培指導の依頼来る。苗作り、畑に定植の指導する。後は電話での確認する。
- 37) 4月29日、昭和町での「昭和の日」のイベントに参加。落語家の笑福亭仁昇さんと「なにわの伝統野菜」の復活の流れについて、大阪弁でやりとりする。大変うけた。
- 38) 6月19日、私立高等学校家庭科研究会による研修部会より、クレオ大阪中央4階クラフト調理室で「蘇ったなにわの伝統野菜」という題で講演をする。後「泉州水茄子」を使ってぬか漬の漬け方を実習してもらった。流通対策室の柳生さんも参加していただく。
- 39) 6月27日より、NHKテレビの収録「料理番組ビギナーズ特集」始まる。28日朝より北恩加島小学校での収録後、河南町の北山さんの畑で森下先生、北山さんと私の3人が、収録まで協力。北山の奥さんの作った「なにわの伝統野菜」の料理を畑の畦で食べる様子を収録する。
- 40) 6月24日、クレオ西で近畿農政局の食育月間セミナー『考えよう「近畿の食材」見直そう「毎日の食卓」』に参加。
- 41) 6月30日、クレオ大阪西にて、西部さんの「おむすびの会」で毛馬胡瓜を使った料理講習会に参加。「毛馬胡瓜のかっぱ巻」「毛馬胡瓜の奈良漬巻」が好評。
近畿農政局の福田さんも参加して下さる。
- 42) 7月31日、「きょうの料理ビギナーズ」放送された。(8月1日再放送)
- 43) 8月14日、近畿農政局の福田さん「奈良の伝統野菜」の大和三尺の事で電話いただく。私のアドバイスで奈良の森奈良漬屋店が、種さがしから栽培して3年がかりで漬けた奈良漬を見に行かれ、私の事を聞かれたそうで、大変喜んでいただいた。私の所にも「大和三尺」の奈良漬を森さんより送って下さいました。
- 44) 9月1日、京都の農業資源研究センターのワクチン研究を見学する。参考にになった。
- 45) 9月、千本、大空、鶴浜、堀川、丸山、北恩加島、豊里、豊仁小学校に天王寺蕪の種、難波葱の苗配りをする。種播指導、栽培指導もする。
- 46) 12月5日、朝日新聞の勝間南瓜の記事に私の事が掲載される。
- 47) 12月17日、食とみどりのセンターで13日に持ち帰って漬けた、4種の蕪の食味会をする。やはり切葉天王寺蕪が好評であった。

【平成20年】

- 48) 1月19日、近畿地場野菜応援団、設立10周年記念イベントに出席。京都エルサで開催。
- 49) 2月16日、関大で「なにわの伝統野菜交流会」に出席。中学、小学校の先生達と。
- 50) 7月1日、尼崎市役所に「四十日芋」の苗をもらいに行く。
9月2日、近畿農政局・斎藤局長、西川農政調整官、福田普及係長が自宅に来られる。
大空小学校、野口農園の共生栽培をお見せする。

【平成21年】

- 51) 1月13日、市立旭東幼稚園で園長さん達に食育の一環として、大阪市立幼稚園教育研究会、自然研究会、自然研究部、部会で「なにわ伝統野菜復活のあゆみ」という演題で話をする。また、園児には野菜の話をする。
- 52) 2月6日、大空小学校一年生に麦踏体験を指導する。
- 53) 4月30日、インテックス大阪で行われた「食博覧会・大阪」で「蘇った、なにわ伝統野菜を使った食育」の話をする。
- 54) 7月8日、大空小学校のオープン講座では学校で栽培した小麦を使って石臼でメリケン粉を作る。毎日子供新聞の取材を受ける。
- 55) 10月10日、「野沢菜・伝来の街道ウォーキング」に参加、四天王寺より野沢温泉まで「天王寺蕪の種」を持って行く行事。
- 56) 12月16日、千本小学校の蕪の講習の様子、朝日テレビの取材を受ける。
22日に子供が漬けた天王寺蕪の漬物を米飯給食で食べる様子も取材される。
平成22年2月1日～4日「がんばれ！元気ッズ」で放映される。

【平成22年】

- 57) 2月5日、住吉区役所区民センターで難波葱の伝統野菜認証の為の調理講習会に出席。
- 58) 5月9日積水ハウス・ウェスト西館36階で「食文化としてのなにわ伝統野菜を使った食育」の話をする。
- 59) 7月28日、千本小学校が「なにわ大賞、食文化賞」を受賞。私が指導して来たことが認められる。
- 60) 11月24日、読売新聞の朝刊に私が指導に行っている「千本小学校」の学習様子が掲載される。

【平成23年】

- 61) 9月15日、遠里小野の町会が遠里小野の油の元になる若葉による「菜の花プロジェクト」に参加。この種は何年も前から保存栽培している種子を使用。
- 62) 9月26日、阿倍野・清明神社清明祭で「なにわの伝統野菜の四方山話」という題で記念講演をする。その後、天王寺蕪の種くばりをする。

【平成24年】

- 63) 5月26日、東成区民センターで「なにわの伝統野菜・玉造黒門越瓜の復活の歩み」という題で講演する。

【平成24年】

- 64) 6月30日、遠野小野の「菜の花プロジェクト」が若葉より採種した、なたね(種子)による油しぼりに参加する。しぼった油で灯明をつけた。
- 65) 8月19日、東京のテレビ朝日「勝間南瓜」取材に来る、家で撮影。その後、道の駅「かなん」・農家の久門さんも撮影、久門さんの奥さんの南瓜の手作り料理も撮影。みんなでおいしくいただく。
- 66) 9月16日、京都産業大学にて「近畿地方における伝統野菜・特産作物の発達と食文化」のシンポジウムに参加。
- 67) 11月4日、天王寺都ホテルで行われた「大根サミット」に出席。東北大学・佐々木寿先生、宇都宮大学・金子幸雄先生、山形大学・江頭宏昌先生方と会う。

【平成25年】

- 68) 2月10日、相愛大学の「食と健康」のフォーラムに出席。
- 69) 2月28日、近畿農政局の「近畿食育の交流会」に出席。
- 70) 4月27日～29日、インテックス大阪で行われた食博覧会で「食文化としてのなにわの伝統野菜と食育」という演題で講演をする。
- 71) 5月28日、はなやか関西～文化首都年2013「関西の食文化」第1回実行委員会に出席。
- 72) 6月21日、鶴見区花博会場、生き生き地球館で「大阪の環境と個性ある食文化」に参加。元府大の阿倍先生等と談話する。
- 73) 8月30日、やっと「天満菜」の種を配るだけ出来た。農林センターで漬物事業協同組合の有志の人に配布する。
- 74) 9月7日、あべのハルカスの屋上菜園に阿倍野の富沢さんの依頼で「天王寺蕪」の種まきをする。出来具合は風がきついため、出来は良くなかった。
- 75) 10月6日、クレオ大阪東で野口勲さんの「タネが危ない」に参加。F1品種の事について参考になる。
- 76) 12月2日、府立農芸高校1年生に伝統野菜の出会いと今後、若い人達によって他の県に負けない様に守ってほしいという話をする。

【平成26年】

- 77) 1月24日、府立農芸高校で天王寺蕪の漬物作りの実習指導する。
- 78) 2月25日、京都のコープイン京都で行われた「近畿地域食育実践者等の交流会」に参加。
- 79) 3月12日、梅田のグランフロント大阪で行われた「関西の食文化」に参加。
- 80) 8月2日、京都リサーチパークバスホールで行われた「食育シンポジウム」に参加。講師・土井善晴氏「日本の未来をつくる和食」という講演。
- 81) 8月25日、府立農芸高校の1年生80名に「伝統野菜の必要性 F1品種の危険性」について講演をする。JA大阪市の雑誌「萌」の田下氏に取材を受ける。
- 82) 10月12日、永年種子保存栽培していた若菜がやっと6年目に「菜の花咲かそう会」の会員さん達と一緒に念願の住吉大社で菜種油の奉納と石灯籠に点灯することが出来た。

- 83) 11月18日、テレビ・NHKニューステラス関西「残したい天王寺蕪」の放映。「大阪の伝統野菜を守れ」8月27日、11月7日に取材を受ける。
- 84) 11月24日、扇町小学校が農林水産省主催「第2回 日本全国こども郷土料理サミット」で郷土食文化の「郷土料理応援賞」を受賞する。

【平成27年】

- 85) 2月3日、四天王寺で「干しかぶらのかぶら汁」が復活する。
- 86) 2月6日、NHKの食料フォーラム「これからの農産物直売所」に参加。
- 87) 2月14日、近畿農政局（京都）の「教えたい伝えたい和食と郷土」がKKRホテルで行われた。出席。
- 88) 3月17日、西梅田ブリーゼプラザで「家族で囲む食の楽しさと大切さ」に参加。
- 89) 7月22日、長居の植物園に食育の伝統野菜、栽培の取組の打合せに行く、田辺大根・天王寺蕪・天満菜の種渡す。
- 90) 7月26日、アトリウムで菜園に行く、マルチも用意出来ていた。沢山のボランティアによって種まきする、清原・堤さんも応援してくれる。（10月17日間引き。12月10日大根の収穫）
- 91) 7月28日、第46回特別展「たまごとたね」いのちのはじめになにわの伝統野菜の種子展に展示。

止め